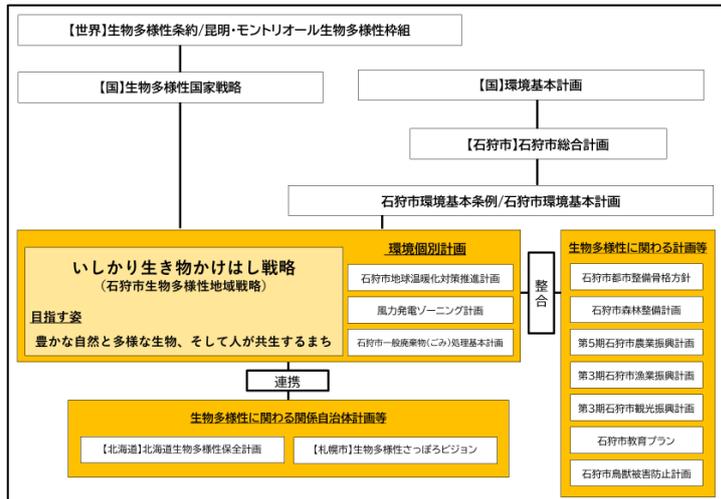


－令和6年度石狩浜海浜植物保護センター事業計画－

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に抽出されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘の生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な地域となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残して行くためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩浜海浜植物保護センター(以下、「保護センター」)は、その活動拠点として、平成12年4月に開設されました。

1)位置づけ

石狩市環境基本条例に基づき、まちづくりの総合計画各である「石狩市総合計画」「環境基本計画」に基づく生物多様性に関する個別計画「いしかり生きものかけはし戦略(石狩市生物多様性地域戦略)」(仮)の行動計画として石狩浜アクションプランに基づき石狩浜の生物多様性に関する事業を進めていきます。



2)事業方針

事業方針	事業概要	環境基本計画方針
I 情報・学び・体験の場として施設機能の充実	【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上
II データに基づく保全対策	【調査・研究・保全事業】 海浜植物保全に関する生態・生育情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。	生物多様性の保全
III 自然資源の適正管理と適正利用	【自然資源の保全・活用】 海浜植物等保護地区における海浜植物や地形の状況把握、過度なレジャー利用に対する注意喚起、本来の保護地区としての利活用に関する維持管理等を実施する。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上
IV 石狩浜の自然に対するシビックプライド浸透のための基盤づくり	【資源活用の基盤整備事業】 持続可能な範囲内で海浜植物を活用していくことで、自然とのふれあいの創出や、多様な主体が保全に関わる基盤を構築する。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上 様々な主体との連携・協働

3)令和6年度事業計画

I 情報・学び・体験の場として施設機能の充実

事業方針	事業概要	環境基本計画方針
I 情報・学び・体験の場として施設機能の充実	【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。	自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上

①展示室

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.常設展示の維持管理	石狩浜の成り立ち、海浜植物の生態的な特徴、石狩浜の生態系といった石狩浜の自然環境保全の基礎となる情報について展示をすることで、石狩浜の基礎的な情報を知ってもらい次の興味が繋がる。	開館中については、軽微な修繕等を継続し、来館者が見やすい施設づくりを進める。	・補修、修繕の有無を点検(日常業務) ・内容の見直し
2.開花情報の発信	観察園の開花状況や、最新の様子の発信、観察園の日常を記録し、長期的な自然情報の記録とする。	観察園の情報発信による観察園への自発的な見学者増を目指す。	・観察園の情報の日常的な更新 ・普及員による観察園への声かけ ・来館者による観察情報の発信フォームの検討

②観察園/ハマナス再生園

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.園路およびサインの整備・維持管理	来館者が安全・安心な環境のもと、快適に園内散策ができるように整備をする。	観察に適した園路の維持管理。 必要に応じた木道等の修繕。 植物名等のサイン表示。	・日常業務内で点検・管理 ・季節に応じたサインの追加、更新 ・害虫等の防除 ・園内の清掃
2.ゾーンの目的に沿った植生維持管理★	①来館者に対し、石狩浜の見本的な植生を観察できる場とする。 ②アクティブラーニングを主として、海浜植物の生態的な特徴を展示と連動して学べるように管理する。 ③植生維持に関する生育情報を蓄積し、海浜植物の保全に活用する。④多様な主体の参加による植生維持管理を進める。	【観察園】 再現区:帯状構造に沿った現状植生の維持管理。半安定帯の維持管理について知見を蓄積。 ほりほりゾーン:環境学習、夏休み自由課題等での利用促進。 【再生園】 市民参加によるハマナス群落の維持。	・調査結果をもとにした植生管理(外来種の抜き取り/生育種数の調整/ハマナスの剪定) ・環境学習等での利用促進 ・参加型植生管理の実施

③情報発信

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.ホームページ維持管理	石狩浜の自然について、遠隔地に向けた普及啓発を目的に、ネットワークを活用した情報発信。また、市民の自主的な石狩浜の保全活動につながる情報の発信、活動の展開を図る。	海浜植物や、保護センターでの情報、石狩浜の生物多様性について広く情報を発信する。	・調査写真や、観察園の開花情報などを随時ホームページにて更新(目安として月に1度) ・年に3回の機関誌発行 ・市内回覧を活用した普及啓発の推進
2.情報誌の発行			
3.近隣施設での情報案内			
4.CISE ネットワーク・館ネットワーク・その他団体主催事業への協力・出展	石狩市外を中心に、石狩浜及び保護センターについて積極的なPR。 自主的な活動が円滑に進むための広報等を支援する。	外部ネットワークへの可能な範囲内で事業協力。 自主活動への広報等の支援の実施。	・他団体が主催するイベントに参加

④調査研究の発信

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
調査研究報告、学習報告等の掲示	石狩浜の自然に関わる、研究機関や教育機関等による研究や取組について紹介することで、より深い活動について知る機会を創出。	石狩浜に関する研究情報や、環境学習での学習成果等を2～3件を目標に掲示する。	・研究機関及び、教育機関等との事前調整

⑤来館者のニーズ、意識把握

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
アンケートの実施	来館者の意見を聞く機会の創出。	来館されたお客様の率直なご意見を伺い、運営の参考にする。 オンラインアンケートも検討する。	・アンケートの設置(イベント/通常)

II. データに基づく保全対策

事業方針	事業概要	環境基本計画方針
II データに基づく保全対策	【調査・研究・保全事業】 海浜植物保全に関する生態・生育情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。	生物多様性の保全

①現植生・生物相の把握

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
石狩浜モニタリング調査★	石狩浜の植生遷移や変化を把握、観察園における植生管理の基礎データ等を目的に長期的なデータの蓄積を図る。	【植物】 令和5年度に設定した見本植生区のモニタリングを続ける。 遷移が進む植生帯の状況を把握する。	・現地調査(7～9月を予定)
		【動物】 石狩浜を利用する生物種を対象に、その種の動向を自動撮影カメラ等を用いながら随時状況を確認し、対策等に必要情報を収集する。	・必要に応じて、種の生息地マッピング及び、生息状況の確認。 ・自動撮影カメラ等による生息状況の確認。

②植生管理に係る手法の検討・検証

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1. 聚富海岸植生再生試験(モニタリング調査協力)	海浜植生の再生手法の検討(主催:道総研)	道総研との連携協力。★	・植生調査の実施等
2. 海浜植生の維持管理手法の検証(海岸草原保全手法の検討)	現地調査データを参考に、海浜植生の効率的な維持管理を模索し、保全管理に関わる知見や技術を蓄積する。	・見本植生区のデータに基づいた植生管理(観察園、ハマナス再生園)。 ・自生種による外来種防除実験の検証。	・既存調査区のモニタリングから必要に応じた植生管理(I-①-2) ・ハマナスの生育阻害となっている種の除去跡に、見本植生データをもとにした植生管理(自生種の移植)の効果検証 ・管理作業実施前後の植生記録

③希少種

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1. 希少種イソスミレの生育状況の把握	希少種イソスミレの生育地について、地理情報及び植生構成を押さえ、環境変化に左右されやすいイソスミレの保全対策に繋げる。	イソスミレの分布と、個体群構成調査、周囲の植生調査の継続。★	・分布、個体群調査(5月) ・周囲の植生調査(8～9月) ・今後のモニタリング手法について検討
2. ハマボウフウの生育状況の把握	保護地区内外のハマボウフウの生育状況の比較と継続的な採取区による生育への影響を把握し、今後の自然ふれあい地区におけるハマボウフウの科学的データに基づいた持続可能な資源利用への根拠データとする。	設定した調査ラインでエリアごとの生育状況、採取状況について把握する。	・サイズ別株数等の記録 ・監視員業務等の情報を用いて採取状況の把握
3. その他	環境省及び北海道のレッドリストに記載されている希少種、及び個体群として今後石狩浜で状況を押さえる必要がある	エゾスカシユリ、エゾチドリ等の分布状況について記録。	・開花時期に位置情報を記録、分布の把握

	ある種について、生育・分布情報をモニタリングし、対策に繋げる。		
--	---------------------------------	--	--

④外来種

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
現状の把握★	石狩浜の生物多様性保全のために、外来種の早期発見と防除の実施を検討する。	他機関や他の調査等の情報をもとに、外来種の早期発見をすると共に、必要に応じて早急な防除対策に努める。	・多方面からの情報収集 ・必要に応じた現地調査

⑤資料・データの集約・管理

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1. 標本の管理	地域資料の保管と、保全を進めるための情報の収集と管理をする。	適切な環境で保存されるように、日常的な点検をする。	・標本の定期点検 ・調査報告書の作成、関係機関報告書の収集など
2. 自然情報の収集・管理	環境調査、モニタリング、その他石狩浜に関わる調査研究の報告書などのデータを一括管理し、保全及び情報発信のデータベースとして構築する。	収集データについて、まとめて公開できる体制を検討する。★	・調査報告書の作成、関係機関報告書の収集など ・既存の蓄積データと今後の調査データを合わせた収集・管理の検討 ・公開の手法検討

Ⅲ. 自然資源の適正管理と適正利用

事業方針	事業概要	環境基本計画方針
Ⅲ 自然資源の適正管理と適正利用	【自然資源の保全・活用】 海浜植物等保護地区における海浜植物や地形の状況把握、過度なレジャー利用に対する注意喚起、本来の保護地区としての利活用に関する維持管理、事業の実施。	自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上

①保護地区の利用状況把握・監視・維持管理

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1. 車両侵入の有無、誘導ロープ等の設置・修繕	条例に基づいた海浜植物等保護地区の海浜植物等を保全するための維持管理をする。	監視員の情報をもとに現状を把握し、必要に応じた対策を都度実践する。	・監視員の配置 ・現状の保護地区の監視、車両侵入への対応、ロープの補修等を実施 ・柵の維持管理 ・管理者との情報共有
2. 単管柵の維持管理			

②景観保全による観光資源利用

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
はまなすの丘公園周辺の植生維持管理	海浜植生の維持と、観光地の景観保全を目的とした植生管理を図る。	公園内における持続可能で効果的な外来種等の防除を検証する。	・関係者への連絡調整 ・少人数でのニセアカシア等の除去作業の試行

③保護地区のルール普及啓発

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
体験プログラムを通じた自生地保全の普及啓発	自然とのふれあいを通じて、保護地区や石狩浜の自然に関する普及啓発を図る。	既存のプログラムに連動した保護地区の普及啓発の実施。	・海浜植物を活用したプログラムの作成 ・実施に向けたモニター実施

iv. 石狩浜の自然に対するシビックプライド浸透のための基盤づくり

	事業方針	事業概要	環境基本計画方針
IV	石狩浜の自然に対するシビックプライド浸透のための基盤づくり	【資源活用の基盤整備事業】 持続可能な範囲内で海浜植物を活用していくことで、自然とのふれあいの創出や、多様な主体が保全に関わる基盤の構築。	自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上 様々な主体との連携・協働

①環境学習・生涯学習

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.教育機関へのプログラムの実施★	石狩浜の自然や海浜植物について、アクティブラーニングを主体にした学ぶ機会の創出を目指す。	・継続的な実施と見直しを続ける ・生物多様性の発信に向けた内容の見直し ・海浜植物の特徴を利用した体験プログラムの実施。	・環境学習の実施/検証/修正 ・補助教材の見直し/修正 ・引き出しクイズの検討/修正
2.センター施設を活用したプログラムの実施		・植生管理と連動した資源活用プログラムの開発	・ほりほり体験/クラフト体験の実施 ・新たなプログラムの開発と検証
3.センター外での普及啓発の実施		・石狩浜トランクキットや、センタープログラムを活用した市外イベントへの参加協力	・連携団体主催事業への積極的な参加(CISE ネット/館ネット)

②ハマナスを活用した普及啓発

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
ハマナス再生プロジェクト	ハマナスをシンボルとした石狩浜の魅力向上と、自然環境保全に対する普及啓発を石狩浜ハマナス再生プロジェクト協議会とともに目指す。	・再生圃のハマナスを活用したイベント、体験や学習の受け入れ協力 ・地域資源として花弁・花びらを活用する企業への協力★	共催イベントの実施(はまなすフェスティバル) 体験型ツアー等での利用にかかる対応 ハマナスの花弁・果実の採取管理

③参加型普及啓発

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
市民参加型の自然情報収集	オンラインフォームを活用し、自発的に石狩浜の自然を観察する人を増やす。	情報フォームの作成、集めた情報の公開基準、保管などの体制を整える。	・自然情報フォームの作成、試行、検証